

ゼラチナーゼ阻害効果試験

表皮と真皮の境に存在する基底膜の主成分であるIV型コラーゲンの分解酵素(ゼラチナーゼ)の働きに対する阻害効果を測定する試験です。

ゼラチナーゼは紫外線などの影響により産生が促進され、光老化の一因と考えられています。このゼラチナーゼの活性を抑制することで、基底膜の保護によるシワに対する効果が期待できます。

試験は、基底膜成分IV型コラーゲンの代わりにゼラチンを用いて行います。ゼラチンを青く染色し、ゼラチナーゼにより分解されると透明になります(画像では白く見えます)。

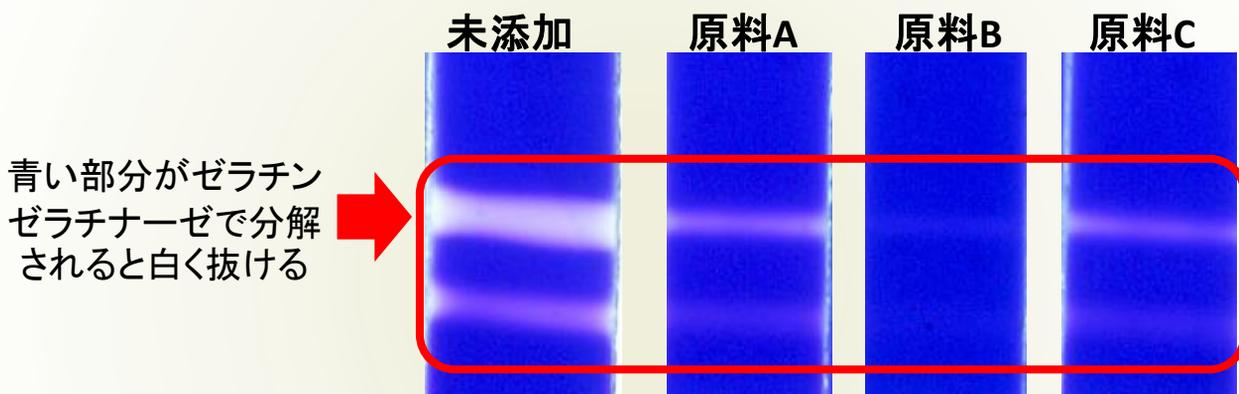
試験目的:シワ、ハリ・弾力

データ活用:社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出:画像

データ例:

ゼラチナーゼ阻害効果



	未添加	原料A	原料B	原料C
効果	×	○	◎	○

原料A、B、Cに効果が確認され、特に原料Bの抑制効果が高い